



# 兵庫支部 NEWS H15 2月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集人 福田 要・安徳信義  
<http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono333> [k-fukuda@cello.ocn.ne.jp](mailto:k-fukuda@cello.ocn.ne.jp) 0795-44-1189

購読料 12回 1,500円 (送料込)  
購読のお申し込みは郵便振替  
振替口座 00980-5-184445  
口座名 北九州市立大学同窓会兵庫



平成 15 年 1 月 17 日兵庫支部同窓会「三金会」 於フリージア

## 平成 15 年兵庫支部同窓総会

7 月 6 日 (日曜日) です  
盛会となる様、お誘いあわせ下さい

### 12 月三金会報告 H14.12.20 於フリージア

兵庫支部長 名越 英昭

出席者：森下、二宮、三宅、平間、安徳、山本、徳光、福田、高尾、河野、大村、名越 以上 12 名

1. 支部総会日程について  
北友会会報 6 月号発送日以降に設定する  
7 月 5 日 (土) 6 日 (日) 12 日 (土) 13 日 (日) のいずれかとし、アトラクション招聘候補のリポート山田氏の日程確認のうえ決定
2. 兵庫支部 NEWS について  
1 月号は A3 版二つ折り 4 ページで発刊予定。学長・同窓会会長のメッセージ依頼済、その他の新聞原稿投稿歓迎  
12 月 17 日現在購読申込者 23 名
3. 支部規約について見直しを検討する

### 1 月三金会報告 H15.1.17 於フリージア

出席者：山本、銭谷、平間、安徳、福田、馬場、大村、森下、吉本、二宮、植松、高尾、福永、松山 名越 以上 15 名

1. ヴィーナスブリッジにて初日の出を拝み、生田神社へ初詣参加者 福田、河野、高尾、二宮、安徳、名越、高須 (ゲスト) 合計 7 名
2. 囲碁の会 第 3 次リーグ戦開始 2 回戦総当り  
関西支部囲碁クラブとの交流会予定  
2 月 21 日 (金) 午後 1 時～5 時 於松竹会館/梅田
3. 歩こう会 オフ会 2 月 9 日 (日) 阪神御影駅 9 時集合  
ケーブル山上駅から六甲山頂経由有馬温泉「金の湯」
4. 兵庫支部 NEWS について  
A3 版二つ折り 4 ページで発刊予定 収支表回覧  
広告を募集 名刺大 1 回 500 円  
6 回分一括契約 3000 円 (拡販時含む)  
購読申込者 1 月 14 日現在 47 名
5. 支部総会開催日 7 月 6 日 (日) とする  
アトラクションにリポート山田を招聘「焼肉焼きほうだい」自作自演、  
会場未定、候補会場推薦を待つ
6. 支部会計取り扱いについて協議

## 兵庫支部行事表

「E-Mail 会」例会 2 月 16 日 1 時 明石市生涯学習センター 8F  
「囲碁の会」神戸・関西交流会 2 月 21 日 (金) 1 時 大阪囲碁サロン 刻(とき)にて開催 tel 06-6314-2565  
「三金会」2 月 21 日 6 時半 於中央区フリージア  
「歩こう会」3 月 9 日 山陽電鉄網干駅 10 時 集合御津町綾部梅林へ、連絡先 藤田会長 [f-hnaruo@eagle.ocn.ne.jp](mailto:f-hnaruo@eagle.ocn.ne.jp)  
「三金ゴルフ」3 月 30 日 於三木セブンハンドレッドクラブ

## E-Mail 会風景

1 月 26 日 E-Mail 例会が行われました。皆さん多忙のためか今回は少々さびしい参加人員でした。だが新しく S31 年米英卒の徳光美智子さんのご参加がありました。

パソコンは初心者の方も、すぐにインターネットで検索を習得され、盛んに歴史的な項目にサーフィン、楽しんで居られました。次回も初心者数名の方がご参加を予定されています。

今回はインターネット・メール、ワード、エクセル部に分かれて各自取り組まれていましたが、ワードの地図挿入・エクセルのグラフ変換に難儀しておられたようでした。

さて、次回例会は前回・今回と同様ここ明石市生涯学習センターで、2 月 16 日 (詳細はお知らせで) に行い、研修項目は参加予定の諸兄弟のご希望に沿うこととなりました。参加申し出とともに河野会長あて希望研修目的などご連絡ください。第 5 回例会の盛会を期待します。

連絡先 078-743-6010 河野旺生 [konoakio@hi-net.zaq.ne.jp](mailto:konoakio@hi-net.zaq.ne.jp)



S38 年米英卒 二宮慶治郎

前回1月号の旅行記でリビアの話を書いたが、その後リビアを出国して、地中海を跨ぎイタリアのローマへ飛んだ。会社の上司が日本へ帰国する前にヨーロッパで「命の洗濯をして帰ってよい」ということで、3月の寒いヨーロッパを点点と見物した。

映画「終着駅」で有名なイタリア ローマの駅「テルミニ」から列車で南へ下りSee Napoli, and die!」ナポリへ南下ポンペイの火山灰に埋まった遺跡を見た。

後、フランスのパリに着いた頃はさすがに中東の温度とは違い寒くてオーバーコートを探してもサイズがなく少年用のコートを求めざるを得なかった。オランダのアムステルダムへ行ったがスキポールの大規模な空港が出来た頃であった。デンマークのコペンハーゲンでは、人魚をカメラに収めようもシャッターが下りず撮影不可であった。次いでドイツのハンブルグから列車でスイスのレマン湖、フランスのシャモニー（スキーで有名）に入りふもとからロープウェイで一気に富士山より高い海拔3800mの頂上からモンブランをながめた。ハンブルグからパリ ドゴール空港へ向かうとき当時日本の赤軍が暴れまわっている頃で日本人と見るやパスポートを何度もチェックされ写真と本人が異なると不審にみられた。無理もない北アフリカにいるとき撮影したパスポートの写真と空港で検査を受ける時容貌が欧州で命の洗濯をした後では変化していたのである。

来年は今年こそはで 半世紀  
風水の模様替えて アラが見え  
皆さんからの投句を募集します。(雅号も御一緒にどうぞ)

思案亭川柳

S44 商 安徳信義

リビアにいた時、我が社の社員がソウジアラビアで仕事上のトラブルでパスポートを取り上げられ困っているという話を聞いた。ソウジアラビアではこの国から出国1日前に空港へパスポートを提出しなければならなかった。検査終了後そのパスポートを無造作に並べられた箱から自分のパスポートを取り出すのだが誰かに盗られないか気が気でない。

今はどうか知らないが勝手にもってけといゆう具合であった。当時はパソコン等なくメッカ参りが始まると隣国等ソウジアラビア大使館のある国からVISAをとり入国するのだがなかなか発行してくれない。ソウジアラビアの取引先や代理店にインヴィテーションレターを書いてくれるよう依頼しても取り合ってくれず、旅行の目的を「観光」とか、「ビジネス」で行きたいといってもメッカ参りの回教徒が優先で大使館の役人はVISA発行を渋りなかなかとりあげてくれない。ついにソウジアラビアのジェダを隣国へ行く為の経由地となるのでぜひ発行を頼み入国後ホテルで滞在延長を依頼するのだがホテルオーナーにOKを取り付けていたが断られ、それから急遽身元保証人になってくれる現地人を探す羽目になる。今の旅行はすべて航空会社やトラベル代理店がやってくれるが昔は全部自分で飛行機のブッキングからビザの取得、なにかから何まで行列の中、割り込む者がいても腹を立てても無駄で全て気長に待たねばならなかった。

昔、ウェスを綿状に引っかき紡毛糸をつくりそれを織り上げた毛布が当時愛知県、静岡県豊橋、掛川、安城あたりに毛布工場がたくさんあり、よく輸出されていたが、巡礼者が野宿するためとは現地へ行ってはじめてわかったものである。ホテルへ収容できず野宿する者が多くこのため安い毛布がよく輸出されていた。巡礼者がソウジアラビアで買う土産の量は相当なもので、日本から繊維品、雑貨が相当量輸出されていた。世界各地の回教徒が毎年700万人位メッカを訪れ、何ヶ月も滞在しそれをおえるとハジとゆう称号が与えられ帰国すると皆から呼び名の上にハジをつけ尊敬の呼称となるのである..

(to be continued)

→「人間とは何だ、ただ寝たり食ったりするだけが人間一生の最大の関心事であるとしたら？ 獣類に過ぎぬではないか。前を望み、後を顧み、筋道たて、物を考へる大きな力を神が人間に賦与されたからには、この神に近い理性と力を用ひもしないで、いたずらに働かせては神意に背くではないか」といはしめている。果して前を望み後を顧みることが人間に賦与された高貴な本質であるとすれば、個人としても、国民としても、日常行為の根本問題は正しき理想に照らして、過去をいかに現在に活かし、現在をいかに将来に展開せしむべきかといふことにあるのであろう。(昭和二十八年六月十五日記)(参照文五項目略)(文芸誌「黒紙」より転載、筆者初代北九州市立大学々長；倫理学；昭和四十二年逝去)

明石にて

S31 米英 徳光美智子

同窓兵庫支部のE-Mail会出席のため、自宅の尼崎から車で明石へ出かけました。明石の天文台が見えるころ、「人麿花壇」(料理旅館)の文字が目にとまり、「人麿」って？、車をあとにして、古い巨石の道標に魅せられ石段を登りつめると、空海によって建立されたと伝えられる柿本神社(人丸神社)に行き着きました。もともとは、お隣り月照寺の鎮守社だったそうです。

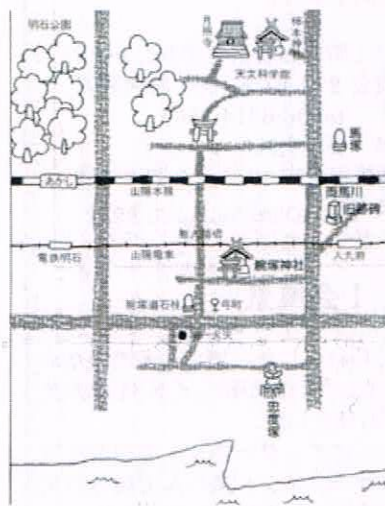
神社の前の展望台には、人麿を敬愛してやまなかった松尾芭蕉の「蛸壺やはかなき夢を夏の月」(笈の小文)の句碑もあり、視界一杯に明石大橋が早春の光に包まれていました。ここ明石海峡は、万葉の昔から畿内と畿外(下国)を分かつ位置にあり、「天離る夷(鄙)の長道ゆ恋ひくれば明石の門より大和島見ゆ」と歌われた、明石大門の地が偲ばれます。人丸山をくだると、山電人丸駅高架下に「両馬川旧跡」の碑文がありました。

源平一の谷の戦いに敗れた平清盛の末弟薩摩守忠度は、海沿いに西へと落ちて行きました。しかし、追い迫った源氏方の岡部忠澄主従と戦い、忠澄を組み敷いた忠度でしたが忠澄の従者に右腕を切り落とされ、「もはやこれまで」と念仏を唱えて討ちとられました。その源平両将が馬を並べて戦った川は両馬川と呼ばれましたが、今は暗渠となっていることが記されています。その忠度の右腕を埋めた小さな祠は、山電の高架化工事のため現在の「腕塚神社」に移されました。いま木製の右手が神社にあります。腕の病に霊験あらたかとお参りする人が絶えないそうです。

忠度が討たれた時、箆に結び付けられていた文に「行きくれば木の下陰を宿とせば花や今宵の主ならまし 忠度」とありました。藤原俊成を師とした歌人として知られ、謡曲「忠度」にも謡われる四十一歳。もののあわれをおぼえます。

私にとってこの明石は17年前、尼崎北高が明石城での予戦に勝ち抜いて甲子園球児の母となり、また、おいしいタコ焼きをイメージするところでしたが、いまはまた、新たな思いを持つようにもなりました。

さてこの日頃、私は時代に逆行するように和裁に熱中しています。でもこの明石でのE-Mail会に参加し、始めて触れたキーボードで早速インターネット検索。倶利伽羅峠・和田岬などとネットサーフィンするにつけ、新しい夢が展がりました。研修会場は広々として、快適なところでした。メール会の同窓生と楽しくキーをたたきましたが、今回はどのようなことに出会えるでしょう。次回のメール会が待たれます。



# シェリーの雲雀に寄する歌に寄せて

(P.B.Shelly, To A Skylark. 1820)

大島直治

We look before and after And pine for what is not.

我等は前を望み、後を顧みて、現にないものにあこがれる。

人はしばしば行為者と呼ばれる。人の人たる所以は、彼れが行為を能くするところに発揮されるといふのである。行為なる語をその十分なる広さと深さに於いて解するときにはまさにその通りである。ところで行為とは、今現にないものを、将来に於いてあらしめる一種の目的々活動に外ならない。もとより、これだけでは行為の全貌が描き尽くされたとはいへないのであるが、しかし少くとも行為が一種の目的々活動であることは争へない。従って行為には、そのために活動が惹起されるところの目的がなければならぬといふことになる。しかるに目的は現にあるものでなく、これから活動することによって将来に於いて実現せらるべきものであることは言うまでもない。近く例を取れば、将来に於いて、即ち一定時の後に於いて、学校で講義をすと云う目的を実現するために、今現に手足を動かして、カバンを提げて道を急ぎ、或はバスに乗り、或はタクシーを駆



て刻々に活動しつゝあるのである。それ故に人が行為をするには、予め目的が定められねばならぬ。予じめと云うのは時間の流れに先んずることである。時間の流れに先んじ得るのは、意識の上に、将来の展望が開けているからであり、前を望み得るからである。かように将来を予見し、時間の流れに先んじて目的を立て、立てられた目的を時間の流れに沿ふて一歩また一歩活動を持續することによって実現するのが取りも直さず行為である。目的を立てるのは意識の作用であり、立てられた目的を客観の世界に実現するには肉体の運動に俟たなければならぬ。しかるに実現の過程に於いて、将来は刻々に現在に移り、現在は絶えず過去に流れてゆく。従って現在の活動は、同じ目的を実現するための過去の活動の継続的發展であって、この関係が断絶すれば、両者共にその意味を失ふことになる。同一目的の実現の過程に於ける昨日の活動と、今日の活動との間に連絡のあることは、今日の活動と明日の活動との間に連絡のあるが如くでなければならぬ。それ故に行為の領域は将来に横たはっているとは云っても、しかも将来に於いて目的が実現されるためには、時間の流れに先んじて将来を望むと同時に、また時間の流れを遡って過去を顧みることができ

なければならぬ。過去はすでに去り、将来はまだ現われない。あるものはただ現在のみである。雲雀はその刹那々々の現在を楽しみ楽しみ、歌唄ひながら高く高く天翔ってゆくの「我等は前を望み、後を顧みて、現にないものにあこがれる」のは何故であろうか。そこに人間の本質が根ざしているからである。しかし、前を望み後を顧みるところに人の本質が根ざしているとすれば、人にあるのは、過去と将来から絶縁された現在にはあり得ない。行為者の意識の光りは単に現在ばかりでなく、同時に過去と将来とを照らし、その現在は、ベルグソンなどが考えたように、常に過去を荷って将来を孕んでいるのである。このことは行為者が過・現・未を通じて自己の同一性を保持することを意味する。或る目的が実現されるためには、実現の全過程を通じて、その同一の目的が追求されねばならぬように、同一の目的を追求する自己も同一でなければならぬ。同じ目的を実現するために、昨日はたらいだのも、今日現にはたらきつつあるのも、明日はたらくであろうところのものも、同じ自分であり同じ自分であるといふ自己意識によって伴はれなければ、目的といひ行為といっても、それは意味をなさない。自己には必然的に過・現・未がなければならぬ。この時と、かの時とを通じて不変なる同一性が保持されるところに自己があるのであって刹那々々に変化する自己はあり得ない。自己と認めるひまもなく自己でなくなっている

からである。仮りにシェリーの雲雀が、ただ刹那々々の喜びを意識するだけで、全然前を望み後を顧みることが出来ないとしたら、たとえその肉体は同じであっても、しかも無数の異った雲雀が、恰も映画に於けるフィルムのように、一瞬々々続けさまに連続しつづあるとも見られるであろう。刻々に刹那的現在が去来するだけで、これらの多を貫ひて一なるものがなければ、他から区別された自己も自己意識もありようがなく、従ってまた同じ目的の実現に向ふとか、同じ目的を追求するとか云ふことのありようもなく、行為の成り立ちようがない。それのみでなく異なれるら、たとえその肉体は同じであっても、しかも無数の異った雲雀が、恰も映画に於けるフィルムのように、一瞬々々続けさまに連続しつづあるとも見られるであろう。刻々に刹那的現在が去来するだけで、これらの多を貫ひて一なるものがなければ、他から区別された自己も自己意識もありようがなく、従ってまた同じ目的の実現に向ふとか、同じ目的を追求するとか云ふことのありようもなく、行為の成り立ちようがない。それのみでなく異なれる時を貫ひて同一なる自己がなければ、他己または他我を認知することができない。蓋しスタウトの指摘に俟つまでもなく、月曜日に会った甲と火曜日に会った甲とが同じ甲であることが認知されるためには、月曜日に甲を見たものと火曜日に甲を見たものが同じ乙であり、そして同じ乙といはれるためには月曜と火曜とを通じて乙が自己同一性を保持していなければならぬからである。たとえ自己の意識と他己の意識とは心理的・発生的には寧ろ後者が先だち、且つ自己を知るには他を知らなければならぬといふことは真理であるにしても他己の認知に自己同一性が予想されることは明らかである。今仮りに刹那の中に閉じこめられた人を想像するならば、彼がその刹那の殻を破って、「前を望み後を顧み」て真に人生の曙光を仰ぐその時に初めて彼の自己と自己意識が誕生し、行為的主体が誕生し、そして歴史と社会の裡に自己をはっけんするであらう。シェリーは前掲の句に続いて

Our sincerest laughter

With some pain is fraught;

Our sweetest song are those that tell of saddest thought.

「心からの笑ひの中にも苦しみ影がやどり、

美しい歌には悲しい想ひがこもっている。」

となげき、シェリーに先だてスコットランドの詩人バーズ (Robert Burns) は「雲雀に寄する歌」と同工異曲の「鼠に寄する詩」(To a mouse. 1785) に

Still thou art blest, compar'd wi' me!

The present only toucheth thee:

But och! I backward cast my e'e

On prospects drear!

An' forward, tho' I canna see,

I guess an' fear!

「それでもわしに較べてはお前は仕合せだ!

現在だけがお前に触れる。

だが、あゝわしは眼を過去へ投げる

あの物凄い光景の上に!

未来は見ることはできないけれど、

推測して恐れる!

とうたっている。いづれも「前を望み後を顧みる」人間の本質そのものに人生の憂患と苦悩が深く根をおろしていることを歎じたものである。しかしまた、まさしく斯る人間の本質そのものゝ故に両詩人は「詩巻を長く天地の間に留め」、まさしくかゝる人間の本質そのものの故に芸術や哲学や科学や政治・道徳・宗教等一切の文化の偉業が人間の世界を禽獣の世界から遙かに遠く引き離し、かくて人間をして群類に卓出せしむるのである。それ故にシェークスピアはハムレットをして

(Sakespeare, Hamlet, IV. iv.)

What is a man?

If his chief good and market of his time

Be but to sleep and feed? a beast, no more

Sure, he that made us with such large discourse,

Looking before and after, gave us not

That capability and god like reason

To fust in us unused. →



旧「十国峠展望台」霧のなかで。後方は有馬ロープウェイ



「歩こう会」阪神御影駅より六甲越え有馬「金の湯」まで

## 「歩こう会」2月OFF会

2月9日、晴天の天気予報で勇躍登山を始めたが、何時にも変わらぬ裏切り予報で、終日霧の中の登山となった。我が国最初に開かれた神戸GCを抜ける道辺りは、昨夜来の激しい雨でぬかるんでいた。旧十国峠回観展望台は跡形も無く、再開発の囲い塀で覆われていた。本日は野生狸の家族や、猪親子の出迎えも無く一路「極楽茶屋」をへて、六甲縦断道路を縫い、六甲最高峰下の「一軒茶屋」到着は昼時前であった。期待していた甘酒は、同窓老爺の体調不良とかで持参無く、また遠慮しいの気弱な方々は冷たい霧の中で昼食を摂られた様である。やんぬるかな。

最高峰より有馬への道「魚屋(トナ)道」は、雨上がりの落ち葉が適当に湿り、一人の不調法者が同行者を驚かせ、転落寸前の醜態を演じた他は、小石で滑ることも無く歩き易い道であった。

昨年来の「銀の湯」同様、新設「金の湯」も盛況であった。脱衣場も満員、鉄色の湯房もイモの子を洗うようであったが、長々と湯浴びして皆を待たせる者もいた。湯上がり後、立ち寄ったピアホールで楽しい一時を過ごし、次回例会を話し合っ別れた。

**インドレストラン シャンティ**

MEMBER'S CARD for only  
The University of Kitakyushu

営業時間 11:00~21:30 (ラストオーダーは21:00)  
Http://www.ethnic.co.jp JR 芦屋モンテメール 5 F  
TEL 0797-35-4807

入店の際にこれを見せていただくことにより一層のサービスをさせていただきます  
44年商卒 安徳信義

## 中国裏話

S44 米英II 植松 久治

私は15年ほど前にはじめて中国に出張し、10年ぐらい前から本格的に中国ビジネスに取り組んできました。そのころと比べて大きく変わったと思われる事をご紹介します。(ただし私の行動範囲は揚子江沿いの都市部と広東省です。)

1) おいしいレストランが増えました。

“中国に行くのは良いが、食事がね……”という話をよく聞きます。ところが中国の生活レベルが上がり、安く(?)ておいしい店がたくさんできました。

昔からある店：緑波廊(クリントン夫妻などが食事したレストラン)、南翔饅頭店(点心専門。日本の饅頭の起源とも)

新しい大型店：新開元、豊収日(いずれも1,500席くらい)

若者に人気の店：上海人家、微風塘(一品あたりの量が少ないので、多くの種類を選ぶことができる。)

餃子専門の店：大娘水餃(何種類もの具があって3~5人で行くくと安くて腹いっぱい食べられる)。

中国では共働きが普通なので、普段はあまり家庭で料理しないそうです。また女性より男性の方が料理が上手?とか。いずれにしても、味がまずければすぐに客足が遠のき、競争も激しいので最近では味に不満はなくなりました。トイレも清潔です。

2) マッサージの店がたくさんできました。

10年前は重たい荷物を持ってあちこちうろろし、肩がこってもマッサージの店を見つけるのは大変でした。(風俗取締まりの関係だと聞いています。)今では健全な店がたくさん出来、値段も足裏マッサージ1時間50元、全身マッサージ45分50元、気功マッサージ2時間で120元とお手軽になりました。ちなみに日本では10分¥1,000。足の巻き爪などは、10円で綺麗に治ります。

3) 日本の歌を歌えるカラオケが増えました。

カラオケボックスのタイプ：一部屋200元くらいから。ラウンジタイプ：一人350~400元くらいで何時間でも飲み放題。女性が横につくと一人200~300元のチップが必要。(大体20~30人ぐらいの中から好みの人を選ぶ。)

女性は少し日本語が話せるのでデュエットも可能。日本語の通じない店は上記の半値ぐらいです。これらはいずれも農村地域の発展が遅れているため、都会に働きに出る人が増えたためだと思われます。

4) 国営工場などの倒産。

この10年間で従業員10~200人くらいの小規模な工場が増えました。経営者の殆どが以前国営工場に勤めており、倒産したため自分で会社を作っています。官僚的でなく、小回りが利いて品質の管理もやり易いので助かっています。

多くの国営工場は親方“五星紅旗”の考え方が変わらず、政府が民営化しても金がなくなると政府に泣きついて、銀行から借りているようです。銀行もこれ以上不良債権を増やしたくないので、貸し出しを停止すると倒産になるそうです。今のところ貿易会社はつぶさない方針だそうですが、最近メーカーから支払いが遅くなったという話をよく聞きます。要注意です。

以上簡単であります。私の感じたままを記事にさせていただきました。中国に行って見たい方はお気軽にご相談下さい。

**アメリカ文学遺選**

近日発行

福田要著

